



スマホ向けサマリ版

2026年12月期 第1四半期
決算説明資料

1 2026年12月期 連結業績ハイライト

売上利益ともに過去最高を更新
先行指標も順調に増加

売上高

過去
最高

15.4 億円

前年同期比

+ 23.8%

営業利益

過去
最高

5.3 億円

前年同期比

+ 90.3%

当期純利益

過去
最高

3.6 億円

前年同期比

+ 101.1%

転貸戸数

57,987 戸

前年同期比

+ 20.6%

法人企業数

4,147 社

前年同期比

+ 8.9%

主要サポート数

541 万件

前年同期比

+ 15.6%

連結業績サマリー

(単位：百万円)	1Q		
	FY26 実績	FY25 実績	増減率
売上高	1,544	1,246	+23.8%
不動産会社向け	706	566	+24.8%
法人企業向け	734	580	+26.6%
引越会社向け	102	100	+2.6%
売上総利益	1,127	955	+18.0%
不動産会社向け	370	343	+8.0%
法人企業向け	669	530	+26.3%
引越会社向け	87	82	+6.5%
販売管理費	591	673	▲12.2%
営業利益	535	281	+90.3%
経常利益	538	282	+90.9%
当期純利益	369	183	+101.1%

※ 子会社における資金流出の該当金額につきましては、全額回収済みであり特別損失の計上はございません。

営業利益は過去最高の約5.3億円

不動産・法人の増収 × AI活用による販管費削減

営業利益の増加要因

FY25 1Q
営業利益
2.8
億円

+

売上総利益
+1.7億円

+

販管費削減
▲0.8億円

=

FY26 1Q
営業利益
5.3
億円

1 売上が上がった理由：不動産・法人が増収をけん引

売上高 **+2.9**億円 (12.46→15.44億円) 前年同期比 **+23.8%**

不動産

+1.4億円

前年同期比 **+24.8%**

ユーザー数・単価ともに成長。前年開始の大型提携が継続貢献。

法人

+1.5億円

前年同期比 **+26.6%**

ユーザー数が大きく増加。単価も順調に上昇し、転貸戸数も回復基調。

2 販管費が下がった理由：AI活用・生産性向上

販売管理費 **▲0.8**億円 (6.7→5.9億円) 前年同期比 **▲12.2%**

AI活用とコールセンターの生産性向上で、1Qの人件費を構造的に圧縮

売上成長で粗利が増え、販管費削減で利益率も改善。

営業利益は前年差約**+2.5**億円の大幅増益。